

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援工房 南庄教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供	日々ミーティングを行い、利用児の支援に関する共有を行っている。その中で児童発達支援管理責任者を中心に個別支援計画の見直しの時間を設け、利用児が成長出来るような支援の提供を行っている。	利用児の特性や強みを把握し、様々な支援の手立てを提供できる支援員を育成していく。
2	環境・体制整備	利用児が痙攣を起した際やクールダウンが必要な際に職員見守りの元、別室を使用している。	利用児が施設で活動する上で戸惑いを感じている部分を敏感に察知し、安心して過ごせる手立てを講じる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関に向かうまでに階段がある。	施設の構造上。	玄関までの階段の上り下りが生じるが、職員が付き添い、怪我・事故の防止に努める。
2	保護者交流会や周辺地域、他施設と交流する取り組みを行っていない。	個人情報取り扱いの観点から行っていない。	適切に個人情報を取り扱える方法が検討できれば、外部との交流の機会も作っていきたい。
3			